はままつ

図書館だより

11月号
vol.213
令和6年10月25日
浜松市立図書館

特集　浜松市文化遺産デジタルアーカイブ
「奥山線の資料を見る」

▲遠州鉄道奥山線　広沢駅（昭和39年5月30日撮影）

待合所の前に多くの学生の姿が写っています。亀山トンネルの西側にあった広沢駅は、浜松市立高等学校の生徒の乗り降りなどで賑わいをみせました。

特集

浜松市文化遺産デジタルアーカイブ「奥山線」の資料を見る

上記の二次元コードを読み取ると、浜松市文化遺産デジタルアーカイブのトップページをご覧いただけます。

遠州鉄道奥山線とは？

遠州鉄道奥山線は、時代によって運行路線の長さや社名が異なりますが、現在のクリエート浜松付近から引佐町奥山までの約25.8kmを走行していた軽便鉄道です。廃線から６０年が経ちました。

この奥山線は、大正3年（1914）11月に浜松軽便鉄道株式会社として、元城－金指間の約15kmが開通して以降、順次路線を拡張し、市民の足として親しまれました。昭和39年（1964）10月31日に惜しまれつつも全線廃止となった鉄道です。浜松市文化遺産デジタルアーカイブではこうした奥山線に関する資料を登載しています。

登載資料の紹介 その1「定期乗車券」

1 浜松市文化遺産デジタルアーカイブのトップページ中段「テーマ別に資料を見る」の「交通」をクリック。奥山線関連資料をご覧いただけます。

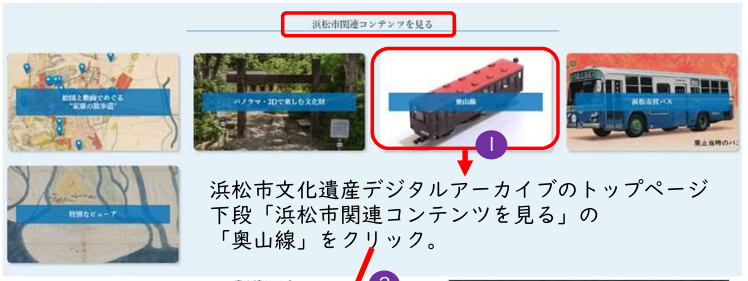
2

左の資料は、昭和30年（1955）1月17日に発券された銭取（現在の遠鉄バス停「銭取」の東側）－気賀口（現在のハローワーク細江付近）間の奥山線の定期乗車券です。「学生」と押印されていることから、該当区間での通学に使用されたものです。乗車券に記載の銭取駅は、銭取駅東側の浜松農業高等学校（現在の浜松城北工業高等学校）へ通学する学生や銭取駅西側の国立浜松病院（現在のリハビリテーション病院）などへ行く人々が多く利用しました。

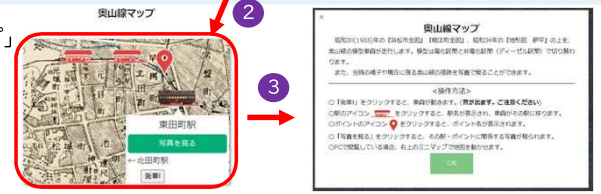
気賀口駅は4月に行われる姫様道中や春から夏にかけての浜名湖巡りといった行楽の時期に賑わいを見せました。

◀二次元コードからも資料をご覧いただけます。

登載資料の紹介 その2「奥山線マップ」



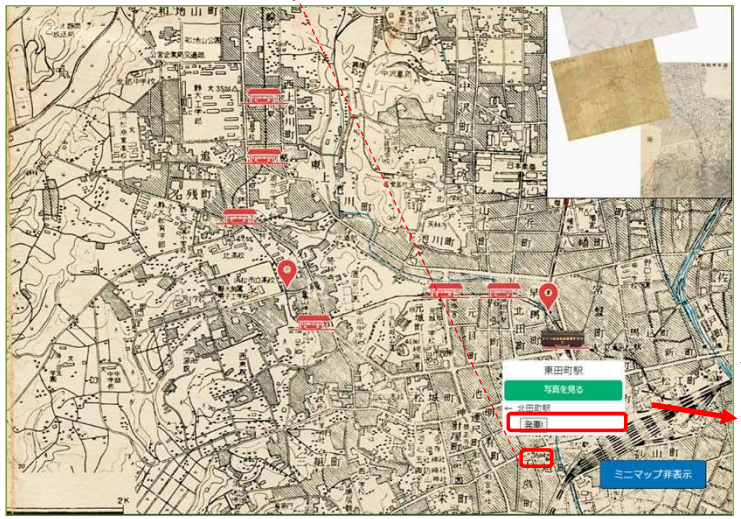
1 浜松市文化遺産デジタルアーカイブのトップページ下段「浜松市関連コンテンツを見る」の「奥山線」をクリック。



2 「奥山線マップ」の画像部分をクリック。

3 「操作方法、注意事項を確認し、「OK」をクリック。

4 「奥山線マップ」では昭和30年と昭和34年発行の地図上を奥山線車両模型が路線に沿って走行します。（「発車!」ボタンで次の駅に向かって走行開始）



「写真を見る」をクリックすると、その駅付近の古写真を見ることができます。

I 辞書

奥山線特集にちなんで、鉄道に関する資料をご紹介します。
中央図書館では明治大正時代や戦中・戦後の時刻表
（復刻版）を所蔵しています。
当時の広告もそのまま掲載されていて、眺めているだけで
過去の時代を旅している気分になれます。

画像は昭和30年代の復刻時刻表です。
表紙も中身も当時のまま復刻されています。
昭和31年11月号には、路線図や時刻表にも
「奥山線」がしっかり掲載されています。

図書館からのお知らせ

シニアのための楽しい音読教室～音読であたまイキイキ～

本を声に出して読む音読は、視覚、聴覚、その他の感覚を使います。まわりの人とコミュニケーションをとりながら、音読をしてみませんか？図書館で用意したテキストを参加者全員で音読をする催しです。

日時：令和 6年 11月 21日（木）　10時30分 ～ 11時45分
会場：浜松市立中央図書館 2階 大会議室
申込：10月15日(火)午前9時～ 電話・Web・直接来館にて受付

詳しくは
こちらから
（図書館HP）

はままつ図書館だより No.213（2024年10月25日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中央区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー